

SEKISUI INTERIOR PRESS

SEKISUI INTERIOR supports you to make beautiful and comfortable interior decoration which is considered good for people and environment through "FINE DECO". We give you the latest information to help your interior decoration.

October 2008
autumn vol. 7
Sekisui Interior ISSUE



齋藤孝先生が考える

子どもをのばすインテリア

SEKISUI INTERIOR

ユニークな教育スタイル「齋藤メソッド」で知られる、明治大学文学部教授の齋藤孝先生とセキスイインテリアによるコラボレーションが始まって半年あまり。「子どもをのばすインテリア」をコンセプトに、インテリア空間のプランニングとオリジナル家具の製作に取り組んできました。そしてこの秋、いよいよ展示場における空間提案と家具の販売がスタートします。今回は、オリジナル家具のご紹介とともに、齋藤孝先生が考える「子どもの知力を伸ばし、豊かなこころを育む」子育てのヒントをご紹介します。

そのかわり、絵本は100冊とか200冊レベルです。さらに、テレビやビデオ、DVDは適度に時間を限定し、基本的にゲームはさせない。

テレビは親も見ますから、全然見せないというわけにはいかないでしょうが、家事をする間、子どもにはアニメのビデオを見せておくとかゲームをさせるといった生活スタイルはおすすめできません。

理想的には、絵本が200冊くらいズラリ並んだ本棚があって、床に寝転がってリラックスできるようなスペースで読み聞かせをする。いつもここで絵本を読むという、場所も大事なポイントです。

そうすることで、親子で読んだ多くの絵本が子どもの知力と情緒の基礎をつくります。そればかりでなく、この時間が家族にとってかけがえのない思い出になり、絆になるのです。

そして子どもが小学生になれば、絵本の次は物語の音読に移っていきます。太宰治の「走れメロス」や芥川龍之介の「蜘蛛の糸」などがおすすめです。

物語を声に出して読むことは、脳を鍛え、呼吸や体にも良いことなので、小学校4年生くらいまで続けたいと思います。最初は、親と一緒に音読してあげるといいですね。

このように、子育てを語りはじめると、まだまだお話ししたいことが山ほどありますが、ひとつのヒントにしていだければと思います。

今回のセキスイインテリアさんとの取り組みでは、お話ししたような考えをもとに、「子どもをのばすインテリア」をコンセプトにした空間や家具の提案を行っています。それらを読み物にまとめた読本もつくりましたので興味のある方は、ぜひお読みになってください。

子どもは絵本で育てるのが一番です

私もふたりの子どもを持つ親としてわかるのですが、子どもには知力・体力ともに優秀に育てて欲しいと思うわけです。3歳くらいから、英会話を習わせるとか、有名な幼稚園や小学校に入れるために塾に通わせるとかいろいろありますが、雑誌やインターネットの情報、口コミを頼りに、あれこれ悩むお父さんお母さんも多いのではないのでしょうか。

でも私は、子育てをあまり難しく考える必要はないと考えています。おすすめしているのは、0歳児からの絵本の読み聞かせです。

6歳くらいまでは、絵本を親子で一緒に読むことを生活の中心においた子育てに専念することが子どもの知力を伸ばし、情緒を安定させると考えているからです。

日本の家族像を語るべきの代表的存在は、「サザエさん」や「ちびまる子ちゃん」だと思います。それらの世界を見てみると、昭和という時代は子どもが幸せだった時代だなあと感じます。お爺ちゃんお婆ちゃんまで家族全員がお茶の間でコタツを囲んで喋り、テレビを見て、ごはんを食べる。今と違って家族も社会もおおらかで、子どもはのびのび成長することができたのです。

家族が一体となり、結束力という温かさがあり、その中で自然と「しつけ」が行われ人格が形成されていった。今から思えば羨ましくもある時代です。

さすがに、そんな昭和スタイルの暮らしをそのままにというわけにはいきませんが、家族のコミュニケーションが豊かになる対話空間をつくることはできます。

たとえば、畳スペースにちゃぶ台のようなテーブルを置いて、テレビゲームではなく親子で将棋をしたりトランプをしたり…。ちょっとゆるいリラックス空間で、親子で遊ぶことが自然な対話を生み出します。

家族がバラバラになりがちで、今の時代を生きる家族にとっては、こんな時間を持つことがとても大切だと思うのです。

1960年静岡生まれ。東京大学法学部卒。同大学院教育学研究科博士課程を経て現職。専門は、教育学、身体論、コミュニケーション技法。2001年に出した「声に出して読みたい日本語」(草思社・毎日出版文化賞特別賞)がシリーズ250万部のベストセラーになり日本語ブームをつくった。著書に「身体感覚を取り戻す」(NHK出版・新潮学芸賞)「読書力」(岩波新書)「質問力」(ちくま文庫)など多数。前文化庁文化審議会国語分科会委員。NHK教育テレビ「にほんごであそぼ」総合指導。

明治大学文学部教授
齋藤孝

子どもと自然に
対話できる住まいを
つくりたい



齋藤孝先生と一緒に、 子どもたちがしっかり学ぶための 家具をつくりました。

齋藤孝先生とセキスイインテリアは、「子どもをのぼすインテリア」をコンセプトに家具をつくりました。
そこには、「知・情・意・体」をテーマにした齋藤孝先生の独自のアイデアがいっぱい盛り込まれています。
こうして生まれた家具たちに、かわいい響きの名前をつけました。「wepi ウェピ」です。
お子様と一緒に、ぜひ一度ご覧になってください。

知性 ①Intelligence
「知」は学び、吸収していく知の力。その基礎をつくるのは、絵本や本です。小さい頃は親に読み聞かせてもらい、就学したら自分で声に出して読む。どれだけの本を読んだのか、知の財産であり家族の思い出に…。リラックスして本を読み、ストックできる場所が住まいには必要です。

情緒 ②emotion
「情」は相手の気持ちを思いやる心。豊かな心を持つ子どもに育てるには、やはり家族とのコミュニケーションが基本です。また、日常的な暮らしの中でアートや音楽とふれ合うことも大切。情緒の安定した「キレない子ども」は、家族との会話がはずむ、情操豊かな住空間で育れます。

意志 ③will
「意」は成し遂げるための積極的な志。学ぶ意欲を育てるためには目標や計画を自分できちんと書いて、常に目にする事です。また、自分でコントロールできるようになるまでは、親がしっかり管理することも大切。いつも目の届くところで子どもが学習できる環境をつくりましょう。

体 ④hysique
「体」は生命、能力の源。まずは元気な体をつくり、たくましく育てることが一番です。子どもの集中力を高め、知力を伸ばすためには、脳を鍛えるだけでは十分とはいえません。物事を体で感じる力、五感を育てる環境の中で、心身ともにバランスよく育てることが大切です。

商品のご購入・お問い合わせにつきましては、ホームページをご覧ください。

<http://www.s-wepi.com>



リーディング シェルフ A
WP-BS-A
¥99,750(税抜 ¥95,000)

知 情 意 体

親子で読んだ絵本や物語は、 子どもたちの財産です。

齋藤孝先生が提唱されている0歳児からの「絵本の読み聞かせによる子育て」。100冊、200冊の絵本や児童書をたっぷり収納したい、

という思いから自然素材による本棚をつくりました。組み合わせれば、子どもだけでなく家族みんなで使える本棚にも。そして世代を超えて使えば、子どもたちにとって、家族にとっての知の財産、わが家の図書館になります。

本棚を家族で共有する場合は、使い方にちょっとしたコツがあります。それは、棚の段や棚ごとにテーマや使う人など、簡単なルールを決めておくということ。また、棚にカラーラベルを貼るなどして分類するとさらに使い勝手が良くなり、取り出したい本を探すこともなくなるというアイデアを先生から教えていただきました。



ダイニングでの勉強をサポートする ダイニング・ラーニングテーブル。

齋藤孝先生いわく、子どもに勉強を教える場合、子供に対して正面や横並びではなく90°の角度で三角形が描ける位置関係に座るのがいいそうです。「ゴールドトライアングル」と呼んでいるそうですが、ひとがスムーズにコミュニケーションできる位置関係なのだとか。

そして、「ゴールドトライアングル」をつくりやすい場所が、なんとダイニング。

しかし、ダイニングは、家族団らん、食事のための空間ですから、勉強道具を出しっ放しという状態はいけません。そこで、ダイニングテーブルに引き出しをつけました。

そうすれば、食事のときはサッと出し入れ可能。何事もけじめをつける習慣を身につけさせることもできるテーブルなのです。

ラーニングテーブル150
WP-DT-15
¥128,100(税抜 ¥122,000)



子どもが勉強に集中できて、 大人になっても使えるデスクを。

一般的な学習デスクは、特徴として教科書や辞書などを収納するラックがセットされており、サイズも幅が100 cm程度で小さめ。子どもが使うからこの程度の大きさでいいという発想でつくられているように感じます。そこで、集中力アップの工夫をプラスした、大人仕



様の学習デスクと収納ワゴンをつくりました。

図書館などにある自習室を想像してください。隣席が気にならないようにパーティションをつけた机を見かけたことはありませんか。

使ってみるとわかりますが、このタイプの机は集中できて勉強がはかどります。それは、視界をコントロールしているからです。人間の視野は両目で200°程度。つまり、その範囲を囲いで隠すと、邪魔なものが視界に入っていないため集中力が高まるのです。



ラウンド デスク
WP-DE-AW
¥126,000(税抜 ¥120,000)
アップダウン ワゴン
WP-WN-A45
¥70,350(税抜 ¥67,000)
パーティション ボード
WP-DP-A13
¥38,850(税抜 ¥37,000)

アーム チェア
WP-CH-A
¥62,790(税抜 ¥59,800)



子どもたちの味方は、 長時間の勉強にも疲れにくい椅子。

たとえば、中学受験をする場合、4・5年生から長い時間机にむかう生活がはじまります。そのためにも、勉強用の椅子は疲れにくい機能を持ったものをはじめから選んでおくべきです。

最近は人間工学設計のすぐれた椅子がありますが、ビジネスユースが中心で、残念ながら子どもを対象にしたものは数多くありません。

そこで、長時間座っても疲れにくい、エルゴノミックチェアをご用意しました。

背もたれ、座面、肘掛の位置や角度が調整できる本格タイプ。長時間の勉強に対応するにはビジネスユースに要求されるような機能が必要なのです。肘掛のない学習椅子が多いのですが、これは必須条件です。

また、座る姿勢について、一番大切なことは「腰を立てて座る」ことだと齋藤孝先生はおっしゃいます。上半身が猫背にならないように背筋を伸ばし、腰を前に軽く前傾。勉強をするには、この軽い前傾姿勢が重要だそう。意識が前向きになり、自然に体がしゃんとして集中力が高まるということです。



present

「子どもをのぼすインテリア」の読本をつくりました。齋藤孝先生による子育てのユニークなアイデアが満載です。また、子どもたちのために特別につくったオリジナル家具「wepi ウェピ」も紹介されています。この読本(エコバッグ・三色ボールペン・缶バッジ付)を50名の皆様にごプレゼントいたします。どしどしご応募ください!



応募要項
官製はがきに、住所・氏名・電話番号をご明記の上、下記宛先までお送りください。

〒104-0061 東京都中央区銀座1-16-1 東貨ビル2F
セキスイインテリア 株式会社
「セキスイインテリアプレス プレゼント」係

締め切り
2008年11月30日(日)

発表
プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

発送
2008年12月中旬ごろ

wepi
ウェピ

で子どもを育てる

topics

トピックス

人に環境にやさしいインテリアをめざす「ファインデコ」。
セキスイインテリアとして皆様の住まいづくりに役立つ
耳寄りな最新情報をセレクトして、いち早くお伝えします。

NAGOYA

セキスイインテリアの
名古屋支店・新オフィスが
完成しました。

名古屋支店の移転に伴い、セキスイインテリアとしてFINE DECOが表現できるオフィスづくりを進めてきました。そして、ついに新オフィスが完成。6月18日に無事引越しを終えました。エントランスからショースペース、オフィスエリアまで自分たちでプロデュースし、すべてがプレゼンテーション空間という意識で取り組みました。特に、床をひのきのフローリング（土足厳禁）にすることで、柔らかなひのきの感触を直接感じていただくことができ、「なんだか落ち着く空間」と、訪れた方からの評判も上々です。



〒461-0001 名古屋市中区東区1丁目21-15 大目ビル3F
Tel.052-950-3888
水曜定休(日・初日はお電話にてご予約ください)

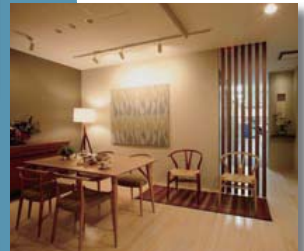


「FINE DECO コーディネートルーム」は、
ショールーム兼セミナールームとして活躍!

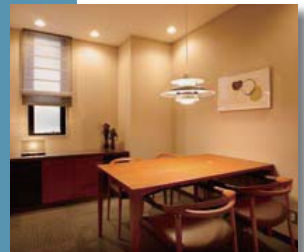
FINE DECOのメインプレゼンテーションスペースとなるのが「FINE DECO コーディネートルーム」です。ここでは、カーテン、グラスワークス、木材サンプル、インテリア書籍など、打ち合わせに必要な材料・資料を豊富に揃えました。また、多目的テーブルは、人気のインテリアデザイナー・小泉誠さんにデザインしていただきました。今後は、情報発信スペースとしてセミナーやイベントなどを積極的に行っていく予定です。皆さまも機会がありましたら、ぜひ一度足をお運びください。



エントランスホールには、私たちが手掛けたインテリア空間の施工例写真をアートギャラリーのような感覚で展示しています。



北欧のファブリックやVチェアなど、上質なインテリアで演出したショースペース。オフィスへの視線を遮る縦格子もアクセントに。



システムファニチャーのクールシリーズを採用した、打ち合わせスペース。PHランプの柔らかな光に包まれる、落ち着いた空間です。

INTERIOR ITEM

デザイナーが選ぶ インテリアアイテム

無限に広がる宇宙・深遠なる水の中・爽やかに広がる空…これはガラスのオブジェです。ほんの10cmくらい、手の中に納まる大きさなのに、無限の世界がひろがります。ペーパーウェイトになったり、手に取って眺めたり、私の机の友です。5年前、たまたま個展で目にして作品に魅了され、その後度々、個展を訪ねています。30代の美人作家、ノグチ ミエコさんの作品ですが、そのスケール感、みずみずしい感性に、ノグチさんの人柄が溢れています。藤沢に工房があり、教室や体験製作(予約)もできます。秋から冬へ、空が澄みわたる季節、空を見上げながら、手のひらの宇宙も楽しんでみてください。

東京支店
石田 貴美子



ガラス作家 ノグチ ミエコ
武蔵野美術大学ガラス研究会にて硝子制作を始め、伊藤硝子工房にて吹き硝子を学ぶ。その後、吹き硝子工房ヨコハマガラスに入り、数々の賞を受賞。2001年に独立し渡英。AARONSON STUDIOで研修。2004年には自らの工房を開く。また昨年、TVチャンピオン2 ガラスアート王選手権で優勝し、現在、個展・企画・デザイン・ディスプレイなど様々な分野で活躍中。

〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂台2-8-20
Tel/Fax 0466-34-5756
ガラス工房&ギャラリー FUSION FACTORY
<http://www.fusionfactory.jp>

series 06

Mieko Noguchi

Book

おすすめブック

心身をタフにする本
子育て中のお母さんも必読!

「折れない心の作り方」
文藝春秋 ¥1,365 (税込)

あっちでもボキッ、こっちでもボキッ! 会社でも学校でもちょっと一言で一気にくじけてしまう人が跡を絶ちません。あなたのまわりにも、打たれ弱い人増えていませんか? 折れない心を作るためには、自己肯定力を強くする必要があります。それには①ご縁を大切に、②人と深く付き合い、③アイデンティティを強く持つ…という3ステップが必要。黒澤明や折口信夫の例をあげながら、齋藤孝先生が説いてくれます。さらにはイチローや羽生善治が強い秘密も分析。



REPORT

セキスイインテリアは、「eco検定」を推奨しています!



「eco検定」をご存知でしょうか? 環境に対する幅広い知識を持ち、社会の中で率先して環境問題に取り組む「人づくり」を行い、環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の実現を目指すのが「環境社会検定試験R (eco検定)」です。セキスイインテリアでは、人に、地球にやさしいインテリアを提案する企業として、インテリアコーディネーターをはじめスタッフに、検定の受験を推奨しています。

セキスイインテリアは、チーム・マイナス6%に参加しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

セキスイインテリア株式会社

お問合せは下記ホームページまで...

<http://finedeco.jp>